

異文化体験記

◎和歌山県職員による「異文化体験記」です。



地下鉄3号線「五四広場駅」

皆さん、中国と聞くと何をイメージしますか。ここ数年ニュースでよく聞く「爆買」や「大気汚染」などでしょうか。

私はこれまで約2年半中国で生活してきましたが、常に驚かされたのはこの国の変化のスピードです。

特に顕著なのが街の様子で、日々目まぐるしい変化を遂げています。現在は青島(ちんたお)ビールで有名な山東省青島市という所で生活していますが、街の至る所で新しいビルが建設され、昨年末には完成第一号となる地下鉄3号線が開通しました。地下鉄は合計11路線が計画されており、現在も全線開通に向けて各地で工事が進められています。これまで全国様々な都市を訪問しましたが、どこも青島と同じく目に見えて開発を進めていました。

世界第2位の経済大国である中国は、表のとおり山東省だけでインドネシア一国に匹敵する名目国内総生産(GDP)を有します。中国の2016年の実質GDPは前年比6.7%の増加で、伸び率は6年連続低下しており、中国経済について悲観的なニュースをよく見かけますが、生活をする中で日本では感じたことのない変化の速さと成長のエネルギーを日々感じています。

また、高層ビルの立ち並ぶ大通りから少し路地を入れれば貧しい人々が暮らす寂れた街並みが現れるなど、同じ市内でも貧富の差は驚くほど激しいですが、様々な変化が起こる中で、将来の暮らしは今よりももっと良くなると信じて前向きに生きていく力

行政区ごとの名目GDP比較(2015年)

国内順位	行政区 (省、自治区、直轄市)	名目GDP		アジア相当国の名目GDP	
		規模(億ドル)	前年比	国・地域	規模(億ドル)
1	広東省	11,210	7.4%	韓国	13,770
2	江蘇省	10,800	7.7%	インドネシア	8,590
3	山東省	9,700	6.0%		
	台湾(5240億ドル)相当: 浙江省、河南省、四川省 タイ(3950億ドル)相当: 河北省、湖北省、湖南省、遼寧省、福建省、上海市、北京市 フィリピン(2920億ドル)相当: 安徽省、陝西省、内モンゴル自治区、広西チワン族自治区、江西省、天津市、重慶市 ベトナム(1910億ドル)相当: 黒竜江省、吉林省、雲南省、山西省、貴州省、新疆ウイグル自治区 ミャンマー(670億ドル)相当: 甘粛省、海南省、寧夏回族自治区、青海省				
31	チベット自治区	160	11.5%	カンボジア	180

※レートは1ドル=6.4936円で計算

日本銀行北京事務所資料をもとに作成

強さを、そこに住む誰もが持っているように感じます。

経済の成長に伴い、日本を訪れる中国人観光客数も大幅に増えており、2016年の訪日客数は前年から28%増えて637万人となりました。和歌山県を訪問する中国人観光客数も急速に伸びており、2015年の県内宿泊者数は過去最高の98,280人(前年比263%)となっています。ここ数年、街中で中国人観光客を見かける機会が増えたという実感をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。

中国は、地理的にも経済的にも日本にとって切っても切り離せない大切な国です。隣国であるがゆえ歴史や領土などの問題も生じますが、このように多くの中国人が日本に来て、日本、和歌山のすばらしさに触れてもらうことは、今後の両国の関係発展にとっても非常に重要なことだと思います。

中国人は英語を話せる方が多く、日本の漢字も理解してくれるため、筆談でのコミュニケーションも可能です。気さくで友好的な方も多いので、もし今度街中で困っている中国人観光客を見かければ、国際交流のいい機会だと考えて、少し勇気を出して声をかけてみられるのはいかがでしょうか。

〈梶本堅史郎(平成28年4月より山東海峽国際旅行社にて民間企業研修中)〉